教　科	工業	科目名	建築設計製図	単位数	2
学　科	建築	学　年	3 学年	履修区分	必修
使用教科書	「建築設計製図」(実教出版)				
副教材など					

1. 科目の目的

①製図に関する日本工業規格及び建築製図について基礎的な知識と技術を習得することをめざす。
②建築設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を身につけることをめざす。

2. 授業の内容と進め方

製図例を利用し単なる複写でなく，構造設計に必要なことについては「建築構造」・「建築構造設計」・「建築施工」との密接な関係であるので，これらの科目の指導内容を参考にしてわかり易く指導します。

3. 学習する上での留意点

巨大な建築物も、一本一本の線によって創造されていくのですから、一本一本の線の意味を知り、一本一本の線を描く心を育成する努力を根気強く指導していきます。

4. 課題等について

各課題ごとに、学習到達目標に達しない生徒は、補習を実施します。

5. 成績評価規準（評価の観点及び趣旨）

評価の観点	評　価　規　準
関心・意欲・態度	態度：建茶殻計製図に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	建築設計図を正しく読み、総合的に判断できる。
技能	建築設計製図を構想できる技術を身につけ、設計の過程から結果までを的確に表現できる。
知識・理解	建築設計製図の企画や図面の表し方を理解し、知識を身につけている。

6. 評価の方法

(1)出席状況 (2)授業の取り組み状況 (3)各種製図のトレース課題 (4)製図の自由課題 (5)生徒の自己評価内容などにより総合的に判断する。

長崎県立長崎工業高等学校

《指 導 計 画》　科目名　建築設計製図　3 学年　2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一学期	4 5 6	(1)鉄筋コンクリート造の設計製図 ア.集合住宅設計図 ①配置図・1階平面図 ②立面図・断面図 ③展開図 ④各部詳細図	○鉄筋コンクリート造の建築物の設計順序・方法を理解できる。 ○鉄筋コンクリート造の図面種類とその尺度との関係が理解できる。 ○鉄筋コンクリート造の構造法を把握させ，この構造ももつ特殊性を設計の面に十分活用，応用できる。	図面による評価
	7	(2)鉄骨造の設計製図 ア.工場設計図 ①平面図・立面図・断面図	○鉄骨造の建築物の設計順序・方法を理解できる。 ○鉄骨造の図面の種類とその尺度との関係が理解できる。	図面による評価
二学期	9 10 11 12	②各伏図・軸組図 (3)卒業設計図 ア.設計の目的 イ.いろいろな建物を見る ウ.イメージスケッチ ①建物の機能図を描く ②平面計画 ③立面計画 ④断面計画 ⑤かなばかり図・詳細図計画 エ.プレゼンテーション ①配置図・1階平面図の作成 ②各階平面図の作成 ③立面図の作成 ④断面図・かなばかり詳細図の作成 ⑤透視図の作成	○いろいろな建築物に対してたえず疑問を投げかけ，作品を見ることができる。 ○設計条件の整理をすることができる。 ○敷地周辺の環境を考え，建物の理想的な形状をスケッチすることができる。 ○各図面を適切に表現し作図することができる。	図面による評価
三学期	1 2 3			